

編 集 規 定

1. 本誌は『京都創成大学紀要』と称する。
2. 本誌は成美学会の学術機関誌であって、原則として1年に1巻発行する。
3. 投稿資格を有する者は次の通りとする。
 - (イ) 会則第4条の(1)に規定された正会員および会則第4条の(3)に規定された特別会員。
 - (ロ) その他の会員については、投稿資格を有する会員との連名の場合に限る。
4. 内容は、会員の専門領域に関する、論文・研究ノート等であり、その他必要に応じて、研究時評・書評等を掲載する。
さらに、各会員の研究活動および学会としての活動に関する記事を成美学会年報として編集掲載する。
 - (1) 論文は、理論的な完成度の高いオリジナルな研究を報告するものとする。
 - (2) 研究ノートは、理論構成の基礎となるオリジナルな研究を報告するものとする。
 - (3) 研究時評は、学術的・文化的価値のある、近年のトピックについて自由に私見や評論を展開するものとする。
 - (4) 書評は、近年出版された新刊書についての私見や評論とする。
 - (5) 成美学会年報は、その年度における各会員の研究活動状況の報告と成美学会が主催した学術講演会・公開講座等の内容についての報告を行うものとする。
5. 原稿の採択および掲載順は、論集編集委員会において決定する。掲載に際して、原稿に修正を加える場合は、執筆者と相談する。
6. 執筆者には、1編につき抜刷50部を贈呈する。但し、希望があれば150部まで贈呈できるものとする。
7. 本誌に掲載されたものは本学会に無断で複製あるいは転載することを禁ずる。

執 筆 規 定

1. 原稿はワープロまたはパソコン(40字×34字)で作成し、フロッピー(機種名・ソフト名を記入、MS-DOSのテキスト・ファイルに変換できる場合は、変換したもの)をそえて提出すること。
2. 縦書き・横書きの別は各々の専門分野の慣例に従って自由に決定してよい。
3. 新かなづかい、当用漢字を用いること。
4. 図・写真等は鮮明なものを提出すること。
5. 図には、図1 (Fig.1)、図2 (Fig.2) …のように通し番号をつけ、表には表1 (Table.1)、表2 (Table.2) ……のように通し番号をつけること。
6. 図表は本文とは別にまとめ巻末に一括して添付し、本文中にはその挿入箇所を明示すること。
7. 原稿の第1ページに和文表題・欧文表題および執筆者名を明記すること。
8. 著者略歴(現職・主論文・主著等)を記し、巻末に添付すること。
9. 文献の引用に際しては、引用箇所ならび出典を明記すること。引用した論文著書の名称は会員各自の専門分野の慣例に従って、各ページの脚注欄に逐次記載するか、または巻末にまとめて記載すること。